

行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1					[笑う。]はい。	
2	p.1	文学としてのマンガの	นี่ มังงา [日本語で発話する] ในฐานะที่เป็นวรรณกรรม	はい。文学としての立場における「マンガ」。		
3					はい。	
4	p.1	引用の織物としての『犬夜叉』	犬夜叉 [タイ語的に発音する] เื่อ 犬夜叉 [タイ語的に発音する] อันนี้ไม่ใช่วัสดุ แต่ถ้าจะพูดว่า [織物を指さしながら発話する]	「犬夜叉 [タイ語的に発音する] えー 「犬夜叉」 [タイ語的に発音する] これはなんと訳すかはっきりしません [織物を指さしながら発話する]。』		
5					うん。	
6			น่าจะพูดว่าข้างนั้นจากเรื่อง 犬夜叉 [タイ語的に発音する]	おそらくだいたいところ「犬夜叉」 [タイ語的に発音する] の話から引用したのでしよう。		
7					うん。	
8	p.1	(高橋留美子作)	อันนี้คือ 高橋 留美子 [日本語で発話する]	これは「高橋 留美子」の名前です。		
9	p.1	山田 利博	เป็น อันนี้คือคนแต่ง	で、これは作者です。		
10					何の作者ですか。	
11			คนแต่งเรื่อง 犬夜叉 [タイ語的に発音する] คือ	「犬夜叉」 [タイ語的に発音する] の話の作者です。		
12					はい。	
13			คือ	はい。		
14	p.1	次に取り上げるべき作品を思いつかず、2年半ほど中断していた「文学としてのマンガ」シリーズであるが、要望が強いためまた書くことにした。副題に掲げたように、今回取り上げる作品は高橋留美子作の『犬夜叉』である。けれど、マンガに詳しい向きはすぐにお分かりで、そうでない方には後で述べるように、この作品を取り上げるのはいささか運命に似た嫌いがあがるが、これにはわけがある。種書が在在する宮崎にはよみうり系のテレビ局が無く、したがってこの作品がアニメ化されたものは今も地上波では放映されていない。もちろんアニメ化される以前にもその存在を知ってはいたが、同じ作者のらんぷ(2) [週刊少年サンデー] に1997年36号から1998年12号まで連載)を稿者は余り評価していないので、コミックス等をチェックするのを見ていた。ところがこの月より、遂に宮崎でもケーブルテレビでこの作品が放映されるに及び、これらに評価するよ様に、本シリーズで論すべき価値ある作品と判定したので取り上げた次第である。例によって先ず、この作品の概括から始めよう。	[黙って要旨を眺めている。] ไม่อ่าน 犬夜叉 [タイ語的に発音する] เื่อแล้วก็หัวเราะ [笑う。] 犬夜叉 [タイ語的に発音する] เื่อแล้วก็หัวเราะ [笑う。]	「黙って要旨を眺めている。」「犬夜叉」 [タイ語的に発音する] を眺めていいことにしましょう。 [笑う。]		
15					いいですね、これは興味がないんですか。	
16			อ้อ อ่าน อ่านก็ได้ละ	ああ、読みます、読んでもいいですよ。		
17					しくていいですよ [笑う]。読みたいくらいじゃないんですか。	
18			ได้ ๆ ได้หมดละ [笑う。]	いいです、いいです。全部いいです。 [笑う。]		
19					[笑う。] 読まないのはなぜですか。と、読まなくていいんですよ。でも、どうしてって。	
20			อ้อ อ่านได้	ああ、読んでいいんです。		
21					[笑う。]	
22	p.1	次に取り上げるべき作品を思いつかず、2年半ほど中断していた「文学としてのマンガ」シリーズであるが、要望が強いためまた書くことにした。	[[次に取り上げるべき作品を思いつかず]の部分を読んで読む。] เื่อ อันนี้คือเรื่องที่จะพูดออกมา เื่อ つかず [日本語で発話する] ปีนี้ไม่อ่าน ไม่ได้อ่านหรือว่าอีก	[[次に取り上げるべき作品を思いつかず]の部分を読んで読む。] えー、話を聞きかべました。聞いて話を挙げて、話すべき話を持ち出して、えー、つかずこれにはさっぱりなくて、思い浮かばないんじゃないでしょうか。思い浮かぶ。		
23					うん。	
24			เดี๋ยวลองอ่านสักตอนจะอ่านบ้างหรือไม่	ちょっと先に読み進めてみますか、どう訳すのか。		
25					うん。	
26			[[2年半ほど中断していた「文学としてのマンガ」シリーズであるが]の部分を読んで読む。] แล้วก็เหมือน เหมือน ผมก็พอ ได้ดู อันนี้มันจะเหมือนตอนพูดไป กลางคืน	[[2年半ほど中断していた「文学としてのマンガ」シリーズであるが]の部分を読んで読む。] それから、ときに、だいたい、2年半、それました。これはおそらくどうも途中で止められていたようですよ。		
27					うん。	
28			มังงา [日本語で発話する] ในฐานะที่เป็นวรรณกรรม ได้ถูก ซีรีส์ [タイ語] において 外来語に当たり、タイ語発 音する) มังงา [日本語で発話する] ในฐานะที่ เป็นวรรณกรรมได้ถูกพูดไปเมื่อตอนผมก็พอ	文学としての立場の「マンガ」は「シリーズ」 [タイ語] において 外来語に当たり、タイ語発音する) になられてきて、文学としての立場の「マンガ」は2年半のときに止められていました。		
29					うーん。	
30			[[要望が強いためまた書くことにした]の部分を読んで読む。] อ่า แล้วเพราะว่าขาดความปรารถนาอันแรงกล้า ก็เลยเขียนอีกที ก็เลยเขียน	[[要望が強いためまた書くことにした]の部分を読んで読む。] あー、でも、彼には最初の強い欲望があったので、それで、もう一度書きます。それで、書きました。		
31					うん。	
32	p.1	副題に掲げたように、今回取り上げる作品は高橋留美子作の『犬夜叉』である。	[[副題に掲げたように]の部分を読んで読む。] เนื้อหาที่ อันนี้ไม่ใช่วัสดุแต่ถ้าจะพูดว่า [副題] の話を指さす)	[[副題に掲げたように]の部分を読んで読む。] 同じように、これはなんと訳すかはっきりしません [副題] の話を指さす。		
33					うん。	
34			แต่ เรื่อง [日本語で発話する] น่าจะหมายถึงทั้งชื่อ อาจจะเหมือนกับข้างเรื่อง	ですが、「題」 おそらく意味するのはタイトル、たぶんタイトルと同じでしょう。		
35			[[今回取り上げる作品は高橋留美子作の『犬夜叉』である]の部分を読んで読む。] อ้อ ตอนที่ เื่อ ผลงานที่เขียนมาในครั้งก็คือเรื่อง 犬夜叉 [タイ語的に発音する] เื่อ 高橋留美子 [タイ語的に発音する]	[[今回取り上げる作品は高橋留美子作の『犬夜叉』である]の部分を読んで読む。] うーん、の話、えー、今回取り上げた作品は「高橋留美子」 [タイ語的に発音する] の「犬夜叉」 [タイ語的に発音する] という話。		
36					うん。	
37	p.1	けれど、マンガに詳しい向きはすぐにお分かりで、そうでない方には後で述べるように、この作品を取り上げるのはいささか運命に似た嫌いがあがるが、これにはわけがある。	แต่ถ้า [[マンガに詳しい向きはすぐにお分かりで]の部分を読んで読む。] お分かりで [日本語で発話する] เื่อ ใน มังงา [タイ語] において 外来語に当たる) ก็เข้าใจ รายละเอียดได้ทันที [[そうでない方には後で述べるように]の部分を読んで読む。] แต่ไม่เหมือนที่คนสามารถเข้าใจได้ทันทีที่จะพูดไปมาแบบนี้	ですが、[[マンガに詳しい向きはすぐにお分かりで]の部分を読んで読む。] 「お分かりで」 [日本語] に対して「マンガ」 [タイ語] において 外来語に当たる) の中には詳細がすぐに理解できます。[[そうでない方には後で述べるように]の部分を読んで読む。] ても、すぐに理解することができない部分は後で話しています。		

38					ん。
39		[[この作品を取り上げるのはいささか遅きに失した嫌いがあるが]の部分を整って読む。] การที่ล่าช้าเกินไปจึงน่าเสียดายนะ แอ いささか いささか [日本語で発音する] อันไหนนะ ไน ๆ ไน อันไหนนะไร (いささかの語を指す) และใน dictionary の意味、タイ語において外来語に当たる quare	[[この作品を取り上げるのはいささか遅きに失した嫌いがあるが]の部分を整って読む。]話を持ち出すこと、この語を持ち上げて話してきた。えー「いささか」にしても意味があまりありません。いいえ、なんと訳すか知りません。「いささか」の語を指す。] die [dictionaryのこと、タイ語において外来語に当たる]を聞いてみますね。		
40				えー、使う、JTDicを使います。	うん、何の辞書を使いますか。
41		แอด ไน ไน JTDic นะ			
42					はい。
43		ฉันนี่มันจะเป็นแปลไทยนะ		これ、これはタイ語に訳すんです。	
44					うん。
45		ต่อมี คำ [日本語で発音する] ตายโหม [タブレットに「いささか」と打ち込んでから、JTDicアプリで検索するとleemiao 「少し」と訳された。] เล่มiao [これにはわけがあるの部分を整って読む。] [これにはわけがある] ส่วน เล่มiao [整って読んでいる。] ฉัน นี่มา เล่มiao うえ [「失した」を讀もうとしている] อ้อไรนะ แอด ฉันนี่เหมือนคำว่ามี [「失した」を指す]	「か」もあるべきでしょうか。[タブレットに「いささか」と打ち込んでから、JTDicアプリで検索するとleemiao 「少し」と訳された。]少し、「これにはわけがある」の部分を整って読む。[これにはわけがある。]整って読んでいる。これ、これは遅い、少し。うし「失した」を讀もうとしている。なんですか、えー、これはなんの語に当たっているんですか[「失した」を指す]。		
46					うーん。
47		พ่อกูเคยเขียนใจตัวเอง อาจ แต่อันนี้กับคนอื่น [「嫌い」を指す] บางอย่างในหนังมันดี อาจจะมีคนวิจารณ์ได้ก็ดี เล่มiao เพราะว่าส่วนที่มันดี เขียนมันดีแหละมั้ง	あるいは何かを失いました。たぶん、それから、これは嫌う「嫌い」を指す。おそらく良い方向に出ていきます。たぶんなんか小さいくない感情があります。少し、ですが、話に関してはそれに理由があります。		
48					ふーん。
49	p.1	読者が在住する宮崎にはよみうり系のテレビ局が無い、したがってこの作品がアニメ化されたものは今も地上波では放映されていない。	「読者が在住する宮崎」の部分を整って読む。] ฉัน นี่บางเวลาตอนเขียน [「読者」を指す]	「読者が在住する宮崎」の部分を整って読む。]これはおそらく書き手のことという意味だと思います[「読者」を指す]。	
50					うん。
51		そんざいする[日本語で発音する] [「宮崎にはよみうり系のテレビ局が無い」の部分を整って読む。] よみうり系[日本語で発音する] แอด นางหมายถ้างว่า แอด ฉันนี่ก็ มิยะซากิ [タイ語的に発音する] หรือแปลไทยไร [「宮崎」を指す]	「そんざいする」。「[宮崎にはよみうり系のテレビ局が無い]の部分を整って読む。」「よみうり系」がえー、おそらく意味するのは、えー、これは「みよさき」[タイ語的に発音する]じゃないでしょうか、はっきりしませんが「宮崎」を指す。		
52					うーん。
53		ในที่มีผู้เขียนอยู่ในนั้น [「タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする」] [「したがってこの作品がアニメ化されたものは今も地上波では放映されていない」の部分を整って読む。] ส่วน เล่มiao เพราะว่า ส่วนที่มันดี เขียนมันดีแหละมั้ง	書き手がいることにはさですね。TV「[タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする]」があります。[「したがってこの作品がアニメ化されたものは今も地上波では放映されていない」の部分を整って読む。]うーん、それから、この他に、「アニメ」[「タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする」]がつくことによる結果として、今は、えー、放映されています。これはその、えー、地、地面と波「[地上波]」を指す。おそらくなんというかおおよそのところ主な潮流の中には入らないのではないのでしょうか。		
54					うん。
55					うん。
56	p.1	もちろんアニメ化される以前にもその存在を知っていたが、同じ作者のらんま1/2(週刊少年サンデーに1987年38号から1998年12号まで連載)を執筆は余り詳細していないので、コミックス等をチェックするのを感じてた。	[[もちろんアニメ化される以前にもその存在を知っていたが]の部分を整って読む。] แอด หมายความว่า อยู่นั้นตอนเขียน [「タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする」] เช่น ก็เป็นที่ยังมากเลย [「同じ作者のらんま1/2」の部分を整って読む。] แอด ตอนเขียนตอนเขียน らんมา [日本語で発音する] เพราะมันดีแหละมั้ง [「らんま1/2」のタイ語で、「らんま」のみタイ語的に発音する] ตอนแต่งตอนเขียน [「週刊少年サンデーに1987年38号から1998年12号まで連載」の部分を整って読む。] มี ส่วนที่บางเวลาส่วนที่เขียนและควาแน่นอน [「1987」を指す]	[[もちろんアニメ化される以前にもその存在を知っていた]の部分を整って読む。]えー、当然ながら、「アニメ」[「タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする」]にされる前に、先に知られていました。[「同じ作者のらんま1/2」の部分を整って読む。]同一の作者。[「週刊少年サンデーに1987年38号から1998年12号まで連載」の部分を整って読む。]うーん、これはおそらく書いた年を意味していますね、なんというか「[1987]」を指す。	
57					うん。
58					うん。
59					うん。
60					はい。
61					はい。
62					うん。
63	p.1	ところがこの4月より、遂に宮崎でもケーブルテレビでこの作品が放映されるに及び、これから放送するように、本シリーズで論ずべき価値ある作品と判定したので取り上げた次第である。	แต่ถ้าในเคเบิลทีวี [「遂に宮崎でも」の部分を整って読んでいる。] ส่วน ไนแปลถ้างไร [「遂」を指す] แต่คิดว่าไม่มากสำคัญ	ですが、4月に、「[遂に宮崎でも]」の部分を整って読んでいる。」「これを宮崎では知りません[「遂」を指す]。でも、重要ではなさそうに思います。」	
64					うん。
65					うん。
66					うーん。
67					うーん。



99		シリーズ(タイ語)において外来語に当たり、タイ語発音をする) ตามซีรีส์แล้วมันมา(タイ語的に発音する)แล้วที่นั่น [読んでいる] และที่นั่นคือ [「選刊少年サンデー」を指す] และที่นั่นคือ [「選刊少年サンデー」を指す] และที่นั่นคือ [「選刊少年サンデー」を指す]	3話の「シリーズ」[タイ語において外来語に当たり、タイ語発音をする]には、「らんま」[タイ語的に発音する]をもちょうと待って下さい。[黙って読んで]。それにこれです[「選刊少年サンデー」を指す]。それともうひとつはおそろ(犬夜叉) [タイ語的に発音する]を意味しています。		
100				ふーん。	
101		【事実12月に4本目の映画が上映予定である】の部分を読んで読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】	【事実12月に4本目の映画が上映予定である】の部分を読んで読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】		
102 p.1	例によって粗筋から始めてみよう。	[黙って読んで]。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】	[黙って読んで]。】 かつ、映画が上映予定である部分に注意して読む。】		
103				はい。[笑う。]	
104		[笑う。] ลอหาบท [タブレット] 指で「粗筋」と書いてJTDicアプリで検索すると、「あらすじ」という読みとพลอตเรื่อง [話のプロット] という意味が得られた。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】	[笑う。] ลอหาบท [タブレット] 指で「粗筋」と書いてJTDicアプリで検索すると、「あらすじ」という読みとพลอตเรื่อง [話のプロット] という意味が得られた。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】		
105				うん。	
106 p.1	舞台は一応日本だが、時は連載開始時の1996年(但し8年経過した現在でも、ヒロインは進学していないところを見ると、他の高橋作品にもほぼ共通して見られるように、この作品でもやはり時は止まっているらしい)と、約500年前の戦国時代の2点を描いている。	舞台は一応日本が[日本語で発音する]。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】	【舞台は一応日本が[日本語で発音する]。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】		
107				ふーん。	
108		แต่บางฉากในเรื่อง 犬夜叉(タイ語的に発音する) ความเป็นไปไม่ได้	ですが「犬夜叉」[タイ語的に発音する]の話のヒロインはですね、勉強に行っています。		
109				ふーん。	
110		ถ้าไม่ได้อ่านมันก็ยากเกิน ๆ กับฉากเรื่องอื่น	もしこの部分を見ないとすると他の話の主人公とよく似ています。		
111				うん。	
112		แต่ผมก็ยัง 止まっているらしい(日本語で発音する) 500年前の戦国時代の2点を描いている。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】	【でもやはり、止まっているらしい(日本語で発音する) 500年前の戦国時代の2点を描いている。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】		
113				うん。	
114		คำนี้เรื่องไปในยุคก่อน	500年前の時代が進んでいきます。		
115 pp.1-2	説明しやすい現代の方から始めよう。	説明しやすい現代[日本語で発音する] 500年前の時代に進んでいきます。	【説明しやすい現代[日本語で発音する] 500年前の時代に進んでいきます。】		
116		เหมือนบางฉากในเรื่อง 犬夜叉(日本語で発音する) ความเป็นไปไม่ได้	なんとかが、話のヒロインは高校生で、でも、主人公は500年います。		頭の中で情報を整理している様子。
117				ん。	
118 p.2	ヒロイン日暮(ひぐらし)かごめは、祖父の言によれば由緒ある(しかし、かごめはあまり信じていない)日暮神社の娘で、祖父・母・弟という家族構成を見る限り、どうやら父親はいないようだが、それ以外はごく普通の中学3年生(どう見ても高校生にしか見えないのは読者の目のせいばかりではない)と思うのだが、この辺りの機軸は既に本シリーズ第1作で触れた。	ヒロイン[日本語で発音する] ひぐらしかごめ [「祖父の言によれば由緒ある(しかし、かごめはあまり信じていない)日暮神社の娘で、祖父・母・弟という家族構成を見る限り、どうやら父親はいないようだが、それ以外はごく普通の中学3年生(どう見ても高校生にしか見えないのは読者の目のせいばかりではない)と思うのだが、この辺りの機軸は既に本シリーズ第1作で触れた。】	【ヒロイン[日本語で発音する] ひぐらしかごめ [「祖父の言によれば由緒ある(しかし、かごめはあまり信じていない)日暮神社の娘で、祖父・母・弟という家族構成を見る限り、どうやら父親はいないようだが、それ以外はごく普通の中学3年生(どう見ても高校生にしか見えないのは読者の目のせいばかりではない)と思うのだが、この辺りの機軸は既に本シリーズ第1作で触れた。】		
119				ふーん。	
120		[タブレット] 指で「由緒」と書いてJTDicアプリで検索しようとしたが、検索結果は得られない。】 ない	[タブレット] 指で「由緒」と書いてJTDicアプリで検索しようとしたが、検索結果は得られない。】 ありません		
121				うん。	
122		【しかし、かごめはあまり信じていない】の部分を読み始める。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】	【しかし、かごめはあまり信じていない】の部分を読み始める。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】		
123				ふーん。	
124		แต่คำ [「それ以外はごく普通の中学3年生】の部分を読んで読む。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】	【「それ以外はごく普通の中学3年生】の部分を読んで読む。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】 したがって、あらすじ(日本語)で発音する。】		
125				うん。	

126		แต่คำ この この [日本語で発話する] 「この辺りの機微は既に」の部分を読んで読む。]	でも、「この、この」。「この辺りの機微は既に」の部分を読んで読む。]	
127				うん。
128		นางจะหมายถึงคำว่า การที่ เขา นั้น เป็น ยึดถือ ขนบธรรมเนียม ในบ้านของเขา [「機微」を指さす] きま [「機微」を指さしている] as it is as an Etic [dictionaryのこと。タイ語において外来語に当たる] 言葉	おそらく意味しますが、彼女が、普通の生徒だということば、これはどう訳すか知りません[「機微」を指さす]。きま [「機微」を指さしている] 原。[「Etic」 [dictionaryのこと。タイ語において外来語に当たる] を聞いてみますね。	
129				うん。
130		[タブレットに指で「機」と書く。]	[タブレットに指で「機」と書く。]	
131	p.2	しかしベットの描プロが、結局すぐに見つかったのだが、かごめ15歳の誕生日に行方不明になり、境内にある、いわくありげな祠の中にある井戸の方にいるようだとこと近づいたところ、その瀬井戸の中から妖怪(壁に百足上履(むかで)しようろう)という名だと分かる)が突然現れ、かごめを中に引きずり込んでしまう。	[[しかしベットの描プロが]の部分を読んで読む。]	[[しかしベットの描プロが]の部分を読んで読む。]
132				[笑う。]
133		เกิดจะ ไรท์ หมาย 慶の誕生日に	描とどう関係するのか。「慶の誕生日に、こうほう不明になり」「かごめ」[タイ語的に発音する]が機に、「かごめ」[タイ語的に発音する]の15歳の誕生日に、彼女が、「不明」これがなかなかはっきりしません、これはわかります、おそらくかごめは突然現れました。	
134				うん。
135		เอา	えー、「がいがないにある」「境内にある」を讀もうとしている」これは分かりません[「境内」を指さす]。鏡のはずでそれと内側。	
136				うん。
137		หรือแปลว่า ล่องหนแล้วกับคนตระ	でしょうか、探してみることにしましょう。	
138				はい。
139		อาจจะหมายถึง โลกอีกที่ หรือ แปลว่า	たぶんもうひとつの世界に行ったことを意味しているのだから、「かい」[タブレットに指で「境」]と書いて「JTDic」アプリで検索すると、「いはい」という読みと「境」[「寺の敷地」という意味が得られた。] またも別の話です。[笑う。]	
140				[笑う。]
141		ในเขตที่	寺の敷地。「境内にある」の部分を読んで読む。]	
142				うん。
143		ล่องหนแล้วกับคนตระ	まずは探してみますね。	
144				うん。
145		[タブレットに指で「祠」]を指す	[タブレットに指で「祠」]を指す	
146				うーむ。
147		い	「い	
148				うん。
149		เอา	えー、「かくし」は隠れる。神社の中にある、隠れた井戸、これは本當に訳が通じません[「いわくありげ」を指さして笑う。]	
150				うん。
151		ในรูปแปลว่าอะไร	どう訳すか知りません。[「その瀬井戸の中から妖怪」の部分を読んで読む。]	
152				うん。
153		เอา	えー、おそらく、ああ、これ[「百足上履(むかで)しようろう)の部分について]はおそらくこれの音読じゃないでしょうか。	
154				うん。
155		เพราะว่า	というのはそれにはんかずのそれには書いていたのは、日本名は脚がたくさんじゃないですか、100の足があるように。[笑う。]	
156				[笑う。]













308				うん。	
309		แล้วก็พอ อาจจะมีแบบ คือ เหมือนบทกวีขนาดเนกลม ไหวหรือเปล่า [笑。]	それで、負けました。たぶんなんか、うーん、なんというか僕の毒に耐えられなかったのじゃないでしょうか。[笑。]		
310				うん。	
311		อันคือความ [「滅死」を指さす] คือเป็นเพราะว่า ภาระ [タイ語的に発音する] เขา เขาพาไปเนออัน หนักมากจนไม่รู้แล้ว ก็ในเมื่อกลัวโรยอย่างนั้น	これは死ぬ、です[「滅死」を指さす]。つまり「奈落」[タイ語的に発音する]。それを私が死に至るほど重い罪を負わされたから、それで、話の中でそのように語られています。		
312				ふーん。	
313		[[「顔の顔前、常人には見えないものが見えること、体内に四魂の玉を持っていたこと等から]の部分を読み始める。] 顔の [日本語で発音する] [「顔で読んでいる。] 見えぬものが見えること 体系的に四魂の玉を持っていたと	[[「顔の顔前、常人には見えないものが見えること、体内に四魂の玉を持っていたこと等から]の部分を読み始める。] 顔の [日本語で発音する] [「顔で読んでいる。] 見えぬものが見えること、体内に四魂の玉を持っていたと、とつからから、顔が同じで、それと、普通の人は、えー、見ることもできる、普通の人は見ることもできないものを、それに体の中にですね4つの精神のガラス玉を持っていた、これらのことからですね。		
314				うん。	
315		[[「恐らくかごめは結核の生まれ変わりであろうこと等を横から聞かされる]の部分を読み始める。] 恐らくかごめは結核の生まれ変わりであろうと聞かされ [日本語で発音する] ฝั่งขวา	[[「恐らくかごめは結核の生まれ変わりであろうこと等を横から聞かされる]の部分を読み始める。] 恐らくかごめは結核の生まれ変わりであろうと聞かされ[日本語で発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] แต่ก็มีบางะ เป็น 結核 [タイ語的に発音する] ที่ก็มีมาตั้งแต่ าก ก็ ไปด้วย [タイ語的に発音する] ก็พูดไปพอ		
316	p.2	その時からかごめは、結核の生まれ変わりとして、再び世に出た四魂の玉を守るという使命を負われるのだが、玉を狙ってかごめのもとには様々な妖怪が押し寄せる。	「そのときからかごめは[日本語で発音する] ฝั่งขวา ตอนนั้นฉัน ก็คือ [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา [日本語で発音する] แต่ เมื่อ [日本語で発音する] ฝั่งขวา		
317				うん。	
318		[[「結核の生まれ変わりとして]の部分を読む。] 結核の生まれ [日本語で発音する] ในฐานะที่เป็น 結核 [タイ語的に発音する] ช่วงสมัยอาณาจักร	[[「結核の生まれ変わりとして]の部分を読む。] 結核の生まれ [日本語で発音する] ในฐานะที่เป็น 結核 [タイ語的に発音する] としての立場、というのは現世に生きて生まれた。		
319				うん。	
320		[[再び世に出た四魂の玉を守るという使命を負われるのだが]の部分を読み始める。] 再び世界に、出てしまったという使命を負われ [日本語で発音する] มิใช่ เมื่อ [「顔で読んでいる。] อันเป็นภาระเหมือนบทกวี หนักมากจนหนักที่ จะต้องปกป้องลูกแก้วสี่วิญญาณ ฝั่งขวา	[[再び世に出た四魂の玉を守るという使命を負われるのだが]の部分を読み始める。] 再び世界に、出てしまったという使命を負われ[日本語で発音する] มิใช่ เมื่อ [「顔で読んでいる。] อันเป็นภาระเหมือนบทกวี หนักมากจนหนักที่ จะต้องปกป้องลูกแก้วสี่วิญญาณ ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] ในฐานะที่เป็น 結核 [タイ語的に発音する] หนักมากจนหนักที่		
321				うん。	
322		ที่คือภาระการปกป้องลูกแก้วสี่วิญญาณ ก็คือออก เดินทางไป เออ ฮัลโหล ฮัลโหล	4つの精神のガラス玉を保護する責務を受けなければなりません、それで、出ていきます、えー、世界に、もう一度。		
323				うん。	
324		[[玉を狙ってかごめのもとには様々な妖怪が押し寄せる]の部分を読み始める。] 玉を狙ってかごめのもとには様々な妖怪が [日本語で発音する] ก็พูดไป เมื่อ พวกมัน เอา งามมา狙ู [日本語で発音する] พวกมัน เอา ทั้งหมดทั้งมวลทั้งลูกแก้วสี่วิญญาณนี้ ก็ เอา เข้าใจ ฝั่งขวา	[[「玉を狙ってかごめのもとには様々な妖怪が押し寄せる]の部分を読み始める。] 玉を狙ってかごめのもとには様々な妖怪が[日本語で発音する] มิใช่ เมื่อ [「顔で読んでいる。] อันเป็นภาระเหมือนบทกวี หนักมากจนหนักที่ จะต้องปกป้องลูกแก้วสี่วิญญาณ ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] ในฐานะที่เป็น 結核 [タイ語的に発音する] หนักมากจนหนักที่		
325					このまま読み続けられますか。
326		ได้ละ	できます。		
327					それか、ま、おまかせします。
328	p.2	後に徐々に語られるが、大夜叉と結核は実は悪仲で、一旦は大夜叉は結核のために人間にならうとまで決意したが、四魂の玉を狙う奈落が、二人の姿に化けてそれぞれに近づき、二人の信頼を壊した上に、結核に瀕死の重傷を負わせたために、結核はそれを大夜叉の仕業と思い、最後の力を振り絞って大夜叉を封印したのである。	えー、「あとにそれから、そのあと少しづつ話を語ります。えっ、これは訳すよ、少しづつなのでしょか [「徐々に」を指さす]。あ、氣にせずに、さほど重要ではありません。[笑。]		
329				[笑。]	
330		[[「大夜叉と結核は実は悪仲で]の部分を読み始める。] 大夜叉と結核は実は [日本語で発音する] เว้ย เว้ย อันนั้น [「毒を指さす] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา	[[「大夜叉と結核は実は悪仲で]の部分を読み始める。] 大夜叉と結核は実は[日本語で発音する] เว้ย เว้ย อันนั้น [「毒を指さす] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา		
331				ふーん。	
332		[[一旦は大夜叉は結核のために人間にならうとまで決意したが]の部分を読み始める。] 一旦は大夜叉は結核の人間にならうとまで決意した [日本語で発音する] แล้ว ก็ ฝั่งขวา	[[一旦は大夜叉は結核のために人間にならうとまで決意したが]の部分を読み始める。] 一旦は大夜叉は結核の人間にならうとまで決意した[日本語で発音する] แล้ว ก็ ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] แล้ว ก็ ฝั่งขวา		
333				うん。	
334		大夜叉 [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา	「大夜叉 [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา		
335				ふーん。	
336		[[「四魂の玉を狙う奈落が]の部分を読む。] 奈落 [タイ語的に発音する] ช่วงสมัยอาณาจักร	4つの精神のガラス玉を狙っていた「奈落」[タイ語的に発音する]。		
337				うん。	
338		[[二人の姿に化けてそれぞれに近づき]の部分を読む。] 二人の姿に化けてそれぞれに近づき [日本語で発音する] ฝั่งขวา	[[二人の姿に化けてそれぞれに近づき]の部分を読む。] 二人の姿に化けてそれぞれに近づき[日本語で発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] ฝั่งขวา		
339				うん。	
340		[[二人の信頼を壊した上に]の部分を読む。] 二人の信頼 [日本語で発音する] อันนั้น [「毒を指さす] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา	[[二人の信頼を壊した上に]の部分を読む。] 二人の信頼 [日本語で発音する] อันนั้น [「毒を指さす] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา [タイ語的に発音する] อันนั้น 仲間 [日本語で発音する] ฝั่งขวา		
341				うん。	







427		[タブレットに指で「誤伏」と書いてJTDicアプリで検索すると、「ちようぶく」という読みが得られた。] ちようぶく ちようぶく ちようぶく [タブレットに指で「誤伏」と書いてJTDicアプリで検索すると、「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」も「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」とも「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」とも「ちようぶく」という読みが得られた。]	[タブレットに指で「誤伏」と書いてJTDicアプリで検索すると、「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」も「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」とも「ちようぶく」という読みが得られた。]「ちようぶく」とも「ちようぶく」という読みが得られた。]		
428				ふーん。	
429		[「奈落の呪いを受けたため」の部分を読む。] 奈落の呪いを受けたため [日本語で発話する] 奈落 [日本語で発話する] 奈落 [日本語で発話する]	[「奈落の呪いを受けたため」の部分を読む。] 奈落の呪いを受けたため [日本語で発話する] 奈落 [日本語で発話する] 奈落の呪いを受けたため [日本語で発話する] 奈落 [日本語で発話する]		
430				うん。	
431		[「以後代々右手に」の部分を読む。] 以後代々右手に [日本語で発話する] 以後代々右手に [日本語で発話する]	[「以後代々右手に」の部分を読む。] 以後代々右手に [日本語で発話する] 以後代々右手に [日本語で発話する]		
432				うん。	
433		[「あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち」の部分を読む。] あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち [日本語で発話する] あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち [日本語で発話する]	[「あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち」の部分を読む。] あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち [日本語で発話する] あらゆるものを喰い込んでしまうブラックホールのような「風穴(かざあな)」を持ち [日本語で発話する]		
434				ふーん。	
435		[「また自身もそれなりの法力を持つ法師でありながら」の部分を読む。] また自身もそれなりの法力を持つ法師 [日本語で発話する] また自身もそれなりの法力を持つ法師 [日本語で発話する]	[「また自身もそれなりの法力を持つ法師でありながら」の部分を読む。] また自身もそれなりの法力を持つ法師 [日本語で発話する] また自身もそれなりの法力を持つ法師 [日本語で発話する]		
436				うん。	
437		[「女が悪いので度々トラブルを引き起こす弥助」の部分を読み始める。] 女 [日本語で発話する] 女 [日本語で発話する] 女 [日本語で発話する]	[「女が悪いので度々トラブルを引き起こす弥助」の部分を読み始める。] 女 [日本語で発話する] 女 [日本語で発話する] 女 [日本語で発話する]		
438				ふーん。	
439		[タブレットに指で「女癖」と書いてJTDicアプリで検索する。] 女癖 [日本語で発話する] 女癖 [日本語で発話する]	[タブレットに指で「女癖」と書いてJTDicアプリで検索する。] 女癖 [日本語で発話する] 女癖 [日本語で発話する]		
440				うーん。	
441		[「おや ちやうぶく」という読みが得られた。] おや ちやうぶく [日本語で発話する] おや ちやうぶく [日本語で発話する]	[「おや ちやうぶく」という読みが得られた。] おや ちやうぶく [日本語で発話する] おや ちやうぶく [日本語で発話する]		
442				ふーん。	
443		[「一族をこれまた奈落に滅ぼされ」の部分を読む。] 一族をこれまた奈落に滅ぼされ [日本語で発話する] 一族をこれまた奈落に滅ぼされ [日本語で発話する]	[「一族をこれまた奈落に滅ぼされ」の部分を読む。] 一族をこれまた奈落に滅ぼされ [日本語で発話する] 一族をこれまた奈落に滅ぼされ [日本語で発話する]		
444				ふーん。	
445		[「唯一残った弟・徳田は」の部分を読んで読んでいる。] 唯一残った弟・徳田は [日本語で発話する] 唯一残った弟・徳田は [日本語で発話する]	[「唯一残った弟・徳田は」の部分を読んで読んでいる。] 唯一残った弟・徳田は [日本語で発話する] 唯一残った弟・徳田は [日本語で発話する]		
446				誰の弟ですか。	
447		お 弟さん 誰か [待ってください] 弟さん 誰か [待ってください]	うーん。 弟。 ちよつと [待ってください]。 続きを読んでいます。		
448				はい。	
449		弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]	どうもこれは一人ずつ覚える必要があります。		
450				うーん。	
451		[「読んで読んでいる。] 弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]	[「読んで読んでいる。] 弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]		
452				うん。	
453		[タブレットに指で「唯一」と書いてJTDicアプリで検索すると、「ゆいいつ」という読みが得られた。] ゆいいつ [日本語で発話する] ゆいいつ [日本語で発話する]	[タブレットに指で「唯一」と書いてJTDicアプリで検索すると、「ゆいいつ」という読みが得られた。] ゆいいつ [日本語で発話する] ゆいいつ [日本語で発話する]		
454				うん。	
455		弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]	でも、「さんご」を意味しているかは分かりません。 探してみますね。 [タブレットに指で「徳田」を書いてJTDicアプリで検索すると、「こはく」という読みが得られた。] 弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]		
456				うーん。	
457		弟さん [待ってください] 弟さん [待ってください]	弟「こはく」[日本語で発話する]はたった一人だけ残った弟です。		
458				うーん。	





491		คือ	はい。		
492				うーん。	
493		現在[日本語で発話する] แน่	「現在」ここでの。		
494	p.3	読者がこれに惹かれたわけは、古典文学を専門とする者であり、この作品の時代設定が主に戦国時代だったからという単純なものではない。 [[読者がこれに惹かれたわけは、古典文学を専門とする者であり]の部分を読み始める。] เออ ที่これに[日本語で発話する]「黙って読んで。」 เออ แน่กับอีกอย่างหนึ่งก็คือ รวบรวมกัน เพราะว่า เออ วิชาเอกของเขาคือคือ วรรณคดีเก่าโบราณ	[[読者がこれに惹かれたわけは、古典文学を専門とする者であり]の部分を読み始める。]「えー、[「これに」]黙って読んで。」うーん。それから、筆者、彼が読したのは、引く、興味を感じたのはですね。かたて、えー、彼の専攻科目が、古の古い古文。」		
495				ふーん。	
496		[[この作品の時代設定が主に戦国時代だったからという単純なものではない]の部分を読み始める。] この作品の時代設定が主に戦国時代だったからという単純なものではない。日本語で発話する] คือเพราะว่าเรื่องนี้เป็นเรื่องเก่า ๆ มีอยู่ในช่วงยุคสงคราม ถูกนำมาเขียนขึ้นเป็นเนื้อเรื่องอีกครั้ง เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องใหม่ เป็นอย่างเก่า ๆ คือ เหมือนว่ามันเป็นเรื่องสงครามยุคเก่า ๆ รวบรวมกัน	[[この作品の時代設定が主に戦国時代だったからという単純なものではない]の部分を読み始める。]「この作品の時代設定が主に戦国時代だったからという単純なものではない。日本語で発話する。この話で、すねそれが、まして、それが戦争時代の時期だから。つまり、この内容の話が、それがどのような話ではない。つまり、結果として、つまりそれが戦争の話のようだからそれで、興味を持ちました。」		
497	p.3	そんなところに拘ってても仕方ないが、読者の専門は厳密には平安時代で戦国時代は異なるし、高橋作品に詳しい者なら誰でも知っているように、彼女は以前(ファイア)トリッパー(選刊少年サンデー1983年夏の増刊号(8月号)初出)という、やはり戦国時代を主な舞台とするタイムスリップものを書いており、それは当時の高橋の力量もあって読み切り止まりだったのかも、わからないが、たとえ今の力量を以て書いたとしても、そのままで、この作品ほど分析に耐えるものとは思われないからである。	「そんなところに拘ってても仕方ないが」うーん。これはなんなんですか分からないです。「黙って」を指さす。だ、たとえなんとかだとしても分かりません。」		
498				うーん。	
499		กำหนดไม่ได้ ลอกลูกขุนนะ 「か不足し」の意味 [タブレットに指で]「海」と書いてJTDicアプリで検索する。」 [日本語で発話する] แน่ [検索結果一覧から]「海」を選ぶと「かわる」という読みが得られた。」「黙って読んで。」 กำหนดไม่ได้ถ้าจะสนใจเรื่องอื่น	なので、助けられませんが「か不足し」という意味、探してみることにしようね。「タブレットに指で」海」と書いてJTDicアプリで検索する。」「なるんですか。」「検索結果一覧から」「海」を選ぶと、「かわる」という読みが得られた。」「黙って読んで。」つまり、もしその話に興味があってもどうにもできません。」		
500				うん。	
501		[[読者の専門は厳密には平安時代で戦国時代とは異なるし]の部分を読んで読んでいる。] เออ เออ วิชาเอกของเขาคือคือ เออ เป็นที่นี้ว่า เออ [日本語で発話する] แน่ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องใหม่ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน	「黙って読んでいる。」えー、えー、筆者の専攻科目はですね、「はげん」で「密」を指さす。嚴格さを秘める。「には、あんじだいでんー」「平安」時代において、それは戦争時代の時期とは異なります。」		
502				うん。	
503		[[高橋作品に詳しい者なら誰でも知っているように]の部分を読む。] 高橋作品に詳しい者なら誰でも知っているように[日本語で発話する] มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน เออ วิชาเอกของเขาคือคือ	[[高橋作品に詳しい者なら誰でも知っているように]の部分を読む。]「これは高橋作品に詳しい者なら誰でも知っているように、高橋作品に詳しい者なら誰でも知っている。あ、高橋[「タイ語的に発話する」、詳しく、ですね。」		
504				うん。	
505		[[彼女は以前]の部分を読んで読んでいる。] 彼女は以前[日本語で発話する] แน่ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน	[[彼女は以前]の部分を読んで読んでいる。]「彼女は以前」さ、彼女は、これよりも前に。」		
506				ん。	
507		[[『炎(ファイア)トリッパー(選刊少年サンデー1983年夏の増刊号(8月号)初出)という]の部分を読み始める。] ไฟไตรปป่า [日本語で発話する] ไฟไตรปป่า [タイ語的に発話する] มันก็จะเหมือนสิ่งหนึ่งที่เขาเคยแต่งนะ	[[『炎(ファイア)トリッパー(選刊少年サンデー1983年夏の増刊号(8月号)初出)という]の部分を読み始める。]「ファイア/トリッパー」「ファイア/トリッパー」「[「タイ語的に発話する]これはおそらく彼女が書いたことがある作品でしょう。」		
508				ふーん。	
509		[[やはり戦国時代を主な舞台とするタイムスリップものを]について]的部分を読み始める。] น่าจะไม่สำคัญมาก [ふっふっ読んでいるが、聞き取れない。] คือเขาเคยแต่งแล้ว มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน เออ วิชาเอกของเขาคือคือ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน	[[やはり戦国時代を主な舞台とするタイムスリップものを]について]部分を読み始める。]「別に重要ではないです。」「ふっふっ読んでいるが、聞き取れない。」「つまり、ただ述べているのは、「高橋」[「タイ語的に発話する」]の作品を知っている人であれば、作家「高橋」[「タイ語的に発話する」]をよく、ですね。知っている。よ。これよりも前の戦争時代の時期の作品を書いたことを知っているでしょう。てきた、主な場面として。」		
510				ふーん。	
511		とするタイムスリップ[日本語で発話する] แน่กับอีกอย่างหนึ่งก็คือ รวบรวมกัน เออ วิชาเอกของเขาคือคือ	「とするタイムスリップ」それにあります。「タイムスリップものを書いており、タイムスリップ」おそく意味するのはなんか時間を後戻りできるか何かですか。まあ書いていたことがありました。」		
512				ふーん。	
513		[[それは当時の高橋の力量もあって読み切り止まりだったのかも、わからない]の部分を読み始める。] 彼女は当時の高橋の [日本語で発話する] แน่ มันก็จะเหมือนสิ่งหนึ่งที่เขาเคยแต่งนะ เออ วิชาเอกของเขาคือคือ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน	「それは当時の高橋の力量もあって読み切り止まりだったのかも、わからない[の部分を読み始める。]」「それは当時の高橋の、で読み切りとま。」「黙って読んで。」うーん。それはたぶん「それは」それはつまり、たぶん「当時の高橋」で、つまり、当時の「高橋」[「タイ語的に発話する」]の能力、「読み切りとま」のこのこと、読むで切った終わるとは何ですか。[笑う。]」		
514				[笑う。]	
515		読み切りとま 読み切り [日本語で発話する] เออ ลอกลูกขุนแล้วกับอีกอย่างหนึ่งก็คือ	「読み切りとま、読み切り」ちよつとまでは読んでみることにしますね。」		
516				うん。	
517		[[たとえ今の力量を以て書いたとしても、そのままで、この作品ほど分析に耐えるものとは思われないからである]の部分を読み始める。] มันก็จะเหมือนสิ่งหนึ่งที่เขาเคยแต่งนะ เออ วิชาเอกของเขาคือคือ เออ มันก็ไม่ใช่เรื่องเก่า ๆ รวบรวมกัน	「たとえ今の力量を以て書いたとしても、そのままで、この作品ほど分析に耐えるものとは思われないからである[の部分を読み始める。]」「たえ、ま、よ、そのままで、この作品ほど、ものとなる。」「黙って読んで。」、って、彼女が話を書くこと、知っている。ただ、当時の高橋、つまり、今のような傾向の話を書いた人がいるとしても、きつとなんか思われます。この作品と同程度にはありません。全体的に、ですね。はつきりしません。」		
518				うん。	
519		น่าจะพร้อมแล้ว	おそらくいいんじゃないですか。		
520	p.3	では何期にそれほど惹かれたのかは、節を改めて詳述したい。	「では」黙って読んでいる。」それから、なぜそれほど引かれたのか、それから、見てみよう、内容をもう一度詳細に。」		
521				うーん。	











678		[[ほぼこれを疑うわけにはいかないだろう]]の部分を読み始める。]	[[ほぼこれを疑うわけにはいかないだろう]]の部分を読み始める。]]ほぼこれをわけ[[日本語で発音する]]。]]	[[ほぼこれを疑うわけにはいかないだろう]]の部分を読み始める。]]ほぼこれをわけ[[それから、きつと察知の証跡を持ちます。きつと察知の証跡を持ちます。すなわち切る人の話、彼女はとも楽しかったのですね？	
679					うん。
680		後編の登場人物の登場シーンが、[[日本語で発音する]]。]]	後編の登場人物の登場シーンが、[[日本語で発音する]]。]]	それになんか読みに来た人はなにか探しがたいものを探しながら読む必要はなかった。それらをきつと察知の証跡に[[日本語で発音する]]の類にあるかはっきりしないのですが。	
681					うん。
682		後編の登場人物の登場シーンが、[[日本語で発音する]]。]]	後編の登場人物の登場シーンが、[[日本語で発音する]]。]]	えっ、ですね？それはこの話でいいですか。	
683					[笑う。]
684	p.4	これだけで[[日本語で発音する]]。]]	これだけで[[日本語で発音する]]。]]	「これだけで[[日本語で発音する]]。]]」	
685					んー。
686	p.4	それは[[西遊記]]である。	それは[[日本語で発音する]]。]]	「それは[[西遊記]]を指してから笑う。」	
687					[笑う。]
688		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	それは[[日本語で発音する]]。]]	
689					うん。
690		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	同じ[[日本語で発音する]]の語の中に引用されています。	
691					ふーん。
692	p.4	かごめのおすわりという言葉により[[日本語で発音する]]。]]	かごめのおすわりという言葉により[[日本語で発音する]]。]]	「かごめのおすわりという言葉により[[日本語で発音する]]。]]」	
693					うん。
694		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
695					ん。
696		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
697					うん。
698		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
699					うん。
700		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
701					うん。
702		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
703					うん。
704		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
705					うん。
706		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
707					うん。
708		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
709					うん。
710		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	
711					[笑う。]
712		[[日本語で発音する]]。]]	[[日本語で発音する]]。]]	「[[日本語で発音する]]。]]」	

713					うん。
714		きんこじの【日本語で発話する】単語の説明 【「禁籠」を指さす】単語の説明 単語/単語/単語/単語 【「禁籠」を指さす】単語の説明 単語/単語/単語/単語	「きんこじの」これは禁じなければなりません【「禁籠」を指さす】これは禁じなければなりません。それとこれは同じでしょうか。「をあるきんこじ」と同じものであることに気づけば「つまり、思うにはおそろあります。敬語があります。」		
715					うん。
716		【犬夜叉は、「犬狼の仲」による「狼」から「犬」へのずらしてあることに思い至るのも容易であろう】の部分を読み始める。】 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語	【犬夜叉は、「犬狼の仲」による「狼」から「犬」へのずらしてあることに思い至るのも容易であろう】の部分を読み始める。】 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語		
717					【笑う。】
718		dog [dictionaryの意味、タイ語において外来語に当たる] 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語	「dog」 [dictionaryのこと、タイ語において外来語に当たる]を聞いてみますね。おそろく動物に類属しています。前の部分で動物に類属して見えるしやないですか。【タブレットに指で「狼」と書いてJTDicアプリで検索すると、「さる」という読みとdog「サル」という意味が得られた。】 dog		
719					【笑う。】
720		単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語	単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語		
721					うーん。
722		単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語	単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語 単語/単語/単語/単語		
723					ふーん。
724		単語/単語/単語/単語	単語/単語/単語/単語		
725					はい、ありがとうございます。